

令和6年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
国語	文学国語	4	2-1~A

1. 学習の到達目標

小説・評論・随筆などのジャンルの作品を読む能力を高め、総合的な国語力の向上を図り、物の見方・考え方を深める。さらに実践的・計画的に学習することで適切に表現する能力を育成するとともに、人生を豊かにする人権感覚を高める。

2. 学習の計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	明日をひらく そとみとなかみ 小説を楽しむ ナイン 晴れた空の下で 社会に生きる 神去なあなあ日常	<ul style="list-style-type: none"> 常識的な価値観やものの見方にとらわれず、新たな視点に立って物事や世界を見つめ直し、自己変革につなげさせる。 小説を読む楽しさや物語から得られる感動を味わい、読解を通してものの見方や考え方を深める。また人物の心情を的確にとらえ、豊かな語彙を培いながら自分の表現や推敲に役立て、正しい人権感覚を養う。 身近で親しみやすい内容を通じて、日本における言語文化の特色や、言語をめぐる思想のあり方を学ばせる。
2 学期	名作を読む（一） 山月記 社会に生きる 靴 表現を味わう ぼくのお母さん 古典の世界 桐壺 若紫	<ul style="list-style-type: none"> 国際化の中で日本のコミュニケーションが少数派であることに気づかせ、自分たちの文化に関心を持たせる。 登場人物の心理がどう描き出されているかを分析させる。生徒と同年代の登場人物に対して、どのような感情を持ったかを考えることで、他者への関わり方についての思索を深めさせる。 日本人の意識構造や、日本の伝統についての認識を深めさせる。
3 学期	小説を楽しむ 待合室 おぼろ月 名作を読む（二） こころ	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の気持ちに想像をめぐらせながら、現代における社会問題への知識を深め、自分たちを取り巻く環境への視野を広めさせる。

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	定期テスト、提出物、授業態度等による。
------	---------------------

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	表現や理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、社会生活に必要な知識を身に付ける。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じて筋道を立て、表現を工夫して話したり文章に書いたりする。	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりしようとする。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	新編 文学国語（大修館書店）
副教材	常用漢字 ダブルクリア 四訂版（尚文出版）